



〒869-12 熊本県菊池郡大津町森54-2 ☎096-293-8100  
社会福祉法人 三気の会 三気の里

16の瞳

理事長 田中 稔

幼児らしいカン高い声がクリニックの一部を改装した奥の部屋から聞こえてきます。

私の部屋の机に向かいながら「いよいよ始まったな。始めてしまつたな。」とボーッととした感慨にひたっていました。

以前から幼少児の自閉症に対し、早期専門的療育の場が必要だと考え続けてきました。昨年、東京の石井聖先生がされている小露路療育研究所杉並教室の現場を見せていただき、熊本にもこんなすばらしい幼児教育がぜひ欲しいなと思えました。帰りの飛行機の中できて、どうして作るかと考え続けました。

こういう想いがだんだんと具体的な形となっていくのは、石井先生と副所長の久保田先生のすごい熱意で引っぱっていただいたお陰です。私の似て非なるものにはしたくないという願いに答えて全力で支えていただきました。東京の方も大変な状況の中で仕事をされているのに、久保田先生自らから熊本の教室の為に来ていただきました。

どんな仕事でも初めの3日、3週間、3ヶ月、3年目に各々、重要な節目があります。久保田先生は当然のごとく大変な時期の3週間で教室の姿、在り方を軌道に乗せていただきました。そのすごさの中に先生が歩いてこられた多くの修羅場を見る思いです。この通所療育幼少児教室の名称をLT教室といえます。現在35名を越える幼少児が通って来ている。幼児は毎月週5日のグループと週1〜3回のグループ。学童は週1回の通所です。

LT教室の開所とともに膨らみ始めた教室のそばの桐の木が、教室の内容が安定するのに合わせて満開の薄紫の釣鐘の様な花をつけました。市内にこんな大きな桐の木が残っているのは珍しい事です。久保田先生が十分に良い仕事をされて帰京されるのを機に幼児の一期生8名を囲んで記念写真をとりました。

名作、映画「24の瞳」のラストシーンは古い一枚の写真を見ながら生き残った昔の生徒達が大石先生とともに思いで話に花を咲かせるといふ場面でした。平成5年4月30日付のこの写真を囲んでお酒

落なおバアちゃんになった久保田先生に「あの時は厳しかったなあ。お陰でこんな大人になれました。」という様な場面がいつか来るといいなあと夢見ています。今君達が流している涙は一日一日テーマを持って挑戦しているからなんです。支えていただいている保護者の方々とこれから長い長い挑戦の旅が今始まったばかりです。



ゆうあいピック 熊本県大会

- ソフトボール・青年の部・3位：元田くん
- 100m走・少年の部・3位：松村くん
- 50m走・青年の部・2位：佐々木くん
- 井口さん 伊石さん



壮年の部・2位：冨田さん  
おめでとう！！  
みんな良くがんばったね。  
おつかれさまでした。

# 療育シリーズ

もつとやさしく

園長 土井尚典

「自閉症」という言葉が「自ら閉ざす」という日本語の響きから、安易に使われています。特にマスコミなどでは、障害を知らないで使われているのをみかけます。不用意に使われる言葉は、世の中の人々に誤解を作り、障害者を抱えた家族には暴力になっていることに気がつきません。

「人も街ももつと優しく」というアジア・太平洋障害者十年のテーマと逆行します。病気をすれば原因を探し治療します。けがをすればけがをした場所を治療します。本場の場所からずれた治療は何の役にも立ちません。自閉症への正しい理解がないと「本場の場所」からずれて、誤った処遇や用語の使用の方がまんえんします。自閉症児(者)とその家族への過去の対応はまさにその歴史でありました。そして、その誤解は今も続いています。

ある保護者が「自閉症は、家族や親の対応が悪いから障害が起き

たと、長年身を切られる思いで責められて来た。しかし、脳の働き(機能)の障害と分かった今日、だれ一人として、親を責めて来た間違いをわびた人はいない。」とおっしゃっています。まさにその通りだと思えます。療育(治療)社会の人間の責任が問われていると思います。「自閉症」という用語の使い方一つをとっても、さらなる差別を作り出していると言っても過言ではありません。

精神薄弱(精神遅滞)と比較すると十分の一、老人問題と比較すると百分の一の数です。しかし、数の問題ではありません。障害児者ひとりひとりに出会ってみると、みんな必死に生きています。ともすれば安閑と過ごしがちなわたしたちと違って、日々、刻々を力いっぱい生きています。見た目には問題行動であったり、困った行動も含まれていますが、それが精一杯の適応行動です。家族は髪を振り乱しての対応です。その日その日が、精一杯の家族もあります。その生きざまをしつかりと直視していただければ「数の事」でないに分かります。障害があるということは、日々、障害と戦う体制です。

「そのうち」「また、後で」とのんびりしておれない状態です。「自閉症」という短い言葉ですが、障害という重みがあります。この障害と戦っている人達に触れ

ていただき、障害を正しく理解していただき「人も街ももつとやさしく」あってほしいと願います。言葉だけでなく、具体的に行動として!





# 班ニュース

## 1 班 久住登山

5月20日、レクレーションで久住登山を試みる山登りの素人組は、田辺を筆頭にすべて旧1班の園生ばかり、登山靴はあるか？リュックは？カッパは？持って行く物は？とすべて旧2班の指導員に尋ね、持っていない人達の買い物から始まる。当日、指導員の“雨降らないかなあ”の願いも空しく、五月晴れ。九重山の麓までのん気号に揺られ、無駄口もたたかず体力の温存（私だけかも）。いざ山頂目指して出発、と歩きだしたはいいが初めから皆のペースに乗り遅れたのが勝ちゃん、聡ちゃん、俊ちゃん、文ちゃんの4人。しかし、旧2班の俊ちゃん、文ちゃんはさすが経験者だけあり急坂を登りきる頃には皆に追いつき、聡ちゃんも坂道は苦手だけれど、その後は皆に遅れまいと必死(?)について行く。問題は勝ちゃん、坂道で「フー」、石ころにつまずいて「フー」。新品の登山靴に慣れないのか、日頃の運動不足がたたってか最後まで、きつい山登り初体験であった。皆お疲れ様でした。山で食べたおにぎりは一際おいしかったね！厨房さん有り難う。 田辺

## 2 班 きこりCLUB

4月に行われた開園記念祭で、我々きこりCLUBの作品をご覧になりましたか？コツコツと作ってきた作品を木工コーナーの隣（作業室Iの部屋）に展示しました。

今までは、すのこがメインだったけれども今回は、すのこ作りから展開してできた組立式椅子（これはマコちゃんが一人で作るんですよ。）、ログハウスにはピクツリの丸太の椅子等大きな作品も出来あがりました。そして、全て廃材を利用して作られた収納箱付きチェア（田之上指導員の力作です）は、参考作品として展示したので残念ながら非売品。「これ、売らないんですか？」とあきらめきれない声も…。また、タオル掛け（坂本指導員作）は注文がきて、カード立て（松下指導員作）は「かわいい！」と評判でした。当日の午前中にボランティアさんと一緒に作ったキーホルダーもなかなかの売れ行きで、この日一日でとってもお金持ちになった気分。素人の私達（木工班）の作品を買って下さって、ありがとうございました。また、買って下さいね。 今村

## 3 班 素人

3班（園芸）に所属になり、1ヶ月が過ぎました。何もかもが初めてで、というか自分自身がおっちょこちょいなため、失敗、失敗の連続で大変迷惑をかけています。しかし、園芸班の職員である東さん、津江さんは心の優しい方であるため、私の失敗を大目に見てくれます。感謝、感謝で一杯です。しかし、これで安心してはいけません。園芸班の園生はしっかり者ばかりで、よく職員を観察しています。私は何度園生から批評されたかわかりません。園芸班では、園生が私達の指導員と言っても過言ではありません。園生から教えてもらうことが多く、勉強になります。今は、園生と一緒に花の苗作りに懸命な毎日です。自分達でまいた種が芽を出してくれた時の喜びは何とも言えません。この苗が大きくなり、花が咲くことを祈りつつ、毎日の水まきを頑張っています。7月には私にとって初めての宿泊レクレーションで沖繩へ行きます。園生以上に楽しみにしている今日この頃です。 溝原

開園記念祭

津江 香

三気の里が開所して6年目の開園記念祭が催されました。前日の雨でグラウンドの状態が悪かった為、園内での記念祭となりましたが、今年もたくさんの人達が三気の里に集まりました。

昨年同様、福本先生を招いての「のだて」、熊本大学の篠崎教授・一門教授の「ウェスタン風コーヒーのだて」、そのメニューに華をそえて頂いた四宮先生の手作りケーキ、「木工・竹工遊び」「丸太切り・釘打ち」「バザー」など、盛りだくさんの催し物があり、どの催し物もたくさんの方々がアさんの協力で素晴らしいものとなりました。

私は、福本先生の「のだて」に参加し、私にとっても初めての経験だったので、福本先生、門下生の方々から「のだて」の作法を丁寧に教えていただきました。来園された人達の参加も多く、きっと楽しめたことだろうと思います。開園記念祭が大成功のうちに終わることが出来、協力していただいた皆様に感謝いたします。

菊池・阿蘇ブロック運動会

木下 昭二

5月16日(日)に初夏を思わせるような抜けるような青空のもとで、第3回菊池・阿蘇ブロック施設運動会が天津小学校の運動場で12施設と白鳩園、在宅の方を交えて行われました。三気の里の園生は、第3回目ということもあって30M・50M走だけでなく、大玉転がしをはじめ色々な技巧走にチャレンジし、パン食い競争ともなると19名もの人が楽しみました。今回は、特に団体競技で成績のよいが目立ち、園生の大王転がし、保護者の方々のボーリングリレー、職員による大縄跳び、それに園生、保護者、職員の代表による施設対抗リレーの4種目で1等賞を取ることができました。それに今回は、昨年も増してテント内にて園生が落ち着いて過ごしていたとの保護者の方からおほめの言葉をいただきました。当日は、朝早くから応援に駆けつけてくださった保護者の方々、また多くのボランティアの学生さん方、どうもありがとうございました。みな楽しんでいただくことができました。次の機会にもよろしく願います。

「さゆりちゃんの日記より」

5月25日火よう日 (途中省略) いよいよあしたからゆうあいピックです。いっしょうけんめいなかなかがんばりたいとおもいます。  
5月26日水よう日 今日は朝の8時にさきのさとをでていきました。はじめはかえったりいったりでばたばたしていたけどやっといけるようになってよかったです。すいぜんじきょうじょうについてからすわるばしょをきめました。女子3人はひるからのぶだったのでとてもまちながかったです。女子は2人で2とうでした。とてもくやしかったのはゆみさんがよそのひとにおいこされたからです。またまとても(秋の熊本大会・全国大会)今日のメンバーでいきたいとおもいます。いけたからいいなとおもいます。せんしゅになれたらいいなとおもいます。今日はとてもたのしかったです。またいける日をたのしみにまっています。



5月26日水よう日 今日は朝の8時にさきのさとをでていきました。はじめはかえったりいったりでばたばたしていたけどやっといけるようになってよかったです。すいぜんじきょうじょうについてからすわるばしょをきめました。女子3人はひるからのぶだったのでとてもまちながかったです。女子は2人で2とうでした。とてもくやしかったのはゆみさんがよそのひとにおいこされたからです。またまとても(秋の熊本大会・全国大会)今日のメンバーでいきたいとおもいます。いけたからいいなとおもいます。せんしゅになれたらいいなとおもいます。今日はとてもたのしかったです。またいける日をたのしみにまっています。

ゆうあいピック熊本県大会

指導員・坂井省英

5月26日(水)、ゆうあいピック熊本県大会が、水前寺競技場を中心に、陸上・フライングディスク・水泳・卓球・ボウリング・バレー・バスケットの各競技が晴天の下で実施された。

我が、三気の里も陸上競技に3種目9名が参加した。参加には、標準記録をクリアしなければならず、少々厳しい大会だったが、参加選手はトレーニングに耐え出場となった。

ハラハラドキドキ、そんな中に「3位松村くん・三気の里」というアナウンス。「やった!」と思わず叫んでいた。次々に入賞のアナウンス。嬉しくて、とても落ち着いてなどいられなかった。

頑張った選手の皆さんおつかれさまでした。素晴らしいドラマをありがとうございました。

尚、今大会は、秋におこなわれる全国大会(ゆうあいピック熊本大会)の予選も兼ねておりましたので、是非選ばれたらと、わくわく待っています。

※入賞者の紹介は一面をご覧ください。

食堂生営員業中

ボランティアア通信

五月二十日、1班と一緒に久住山に登りました。天候は、すばらしく、先週の運動会で日焼けした首が、更にジリジリと音を立てるほどでした。

皆で励まし合いながら、うんしょうんしょと登って行き、段々と上が見えてきた時の喜びは、それこそ一杯の「やった!」でした。お弁当のおにぎりも、普段食べるおにぎりよりプラス5ぐらいおいしいおにぎりでした。山登りを経験して良かったです。

栄養の話

さて、いよいよ涼しい季節が終わり、ムシムシする梅雨と一緒に、食中毒の季節となります。例えば、加熱食品(カレーなど)をどうしても保管しなければならぬ時は、深鍋などにいれたままの冷蔵庫での保存は避け、なるべく小分けし、15度以下に急冷して保管しましょう。買った物した食品(おそうざいや生もの)は、早く持ち帰り、室内放置を避け冷蔵保存で、食中毒を乗り越えましょう。

村上



村上

+

散髪

+

清掃

+

古閑由紀子

※敬称略

+

園田美津子

+

横山政行

+

園田昌寛

+

清藤節子

+

田中ノブエ

今回は、開園記念祭、運動会、その他、多数のボランティアさんに、来て頂きました。

本当に、ありがとうございました。

石丸

栗屋美保 森隆子

+

佐藤明子 森隆子

+

宮崎直子 堀田昭彦

+

岩崎順子 小野リカ

+

石嶋小織 和田綾

+

仲田典之 田上順一

+

伊美麻紀 下田順一

+

林寿恵 林知美

+

前田千春 外山俊彦

+

高田一通 梅田幸子

+

上田幸信 井上愛子

+

下田明美 庄司豪生

+

水野誠也 守田昌子

+

和田綾 池辺裕一

+

+

+

+

+

+

+

+

+

+

+

+

+

+

+

+

+

+

+

1班 二ユース

5月21日(金)、4年間親しんでいた、にわとりくんたちに別れを告げました。ありがとう、にわとりくん、にわとりさん。ショックで、食事ものを通らない職員もいました。5月22日(土)、新しいヒナ鳥15羽+1(オス)がやって来ました。ショックもさめやらぬ今日、せつせと小屋に土を入れ、ヒナ鳥の父に早変わりです。大きく育てよ!

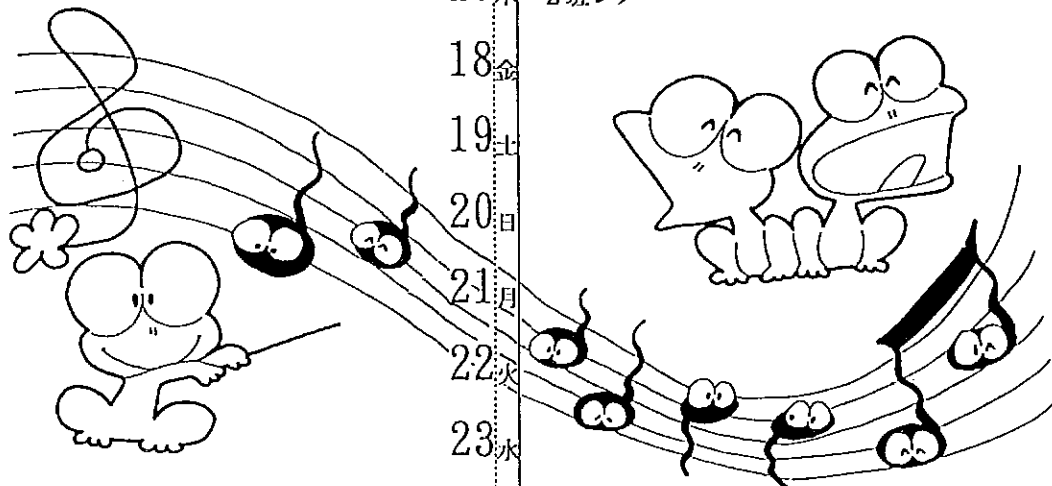
後援会入会

ありがとう

- 荒牧俊雄 三池房子 吉尾寛央
- 笹原江梨 木下祐一 財賀真理子
- 松田佑介 澤田信也 森 裕三
- 若杉裕徳 吉田俊人 北原慎也
- 内田裕己 豊田周平 木山和哉
- 小野勇一 平島康之 稲葉千代子
- 井芹康之 松本武士 坂本シマコ
- 中村涼子 愛育学園 松田雄二
- 吉岡留美 本田直也 興呂木弘隆
- 吉岡誠治 後藤冬樹 五百路智美
- 横山政行 前田拓海 相良久仁子
- 園田昌寛 清藤節子 田中ノブエ

# 6月の行事予定

1 火	16 水
2 水	17 木 2班レク
3 木	18 金
4 金	19 土
5 土	20 日
6 日	21 月
7 月	22 火
8 火	23 水
9 水	24 木 3班レク 誕生会
10 木 1班レク	25 金
11 金	26 土 帰宅バス シーツ交換
12 土 帰宅日 保護者会 シーツ交換	27 日
13 日 療育セミナー	28 月
14 月	29 火
15 火	30 水



本多邦雄 尾田正幸 緒方恵美子  
 稲葉正二 笠 盛中 魚谷ミサヲ  
 江尻 清 岩上静子 久光正太郎  
 林田純子 堤耕一郎 池永ユキエ  
 東嶋敏子 坂口耕一 (株)かばしま  
 田中慶秀 前田修誠 向井隆一郎  
 大橋孝良 島津真一 宮原富美子  
 五島建夫 第二ぎんなん作業所  
 福田幸子 高橋頌慈 田中良憲  
 三井 喬 北島照明 田之上健一  
 神酒光夫 藏元昭一 濱本奈智子  
 清水妙龍 藤本恵美 大津あゆみ園  
 小田郁夫 堀田昭彦 平川ヤエ子  
 赤坂政紀 田尻宗誠 久保嘉四郎  
 大村桂子 澤田良昭 佐藤多賀子  
 木村皮膚科医院 宮崎青年会館  
 宮口純一 兼坂一子 山口祐視子  
 金森栄子 上村才司 野濤知嗣  
 コロエ・センター 中田康則  
 真東 洋 梅田祥太 淵上恒佑  
 小串夏代 西村栄子 伏貫直美

五月二十八日付け ※敬称略

(編集後記) 昼間は、作業棟を建てるのに汗水たらし(旧2班の畑がすっかり様変わり)夜は、たんぼぼ作りに励む編集員達。あーでもない、こうでもないとい編集の夜は更けていきます。 山中